

環境活動レポート Vol.7

有限会社 ミナト

資源回収業
資源回収、一般廃棄物処理業（収集運搬：横須賀市第71号）
産業廃棄物処理業（収集運搬横須賀市第5800119671号）



内 容

- [1] 会社概要
- [2] 認証対象範囲
- [3] 環境方針
- [4] 平成 28 年度環境目標
- [5] 平成 28 年度環境活動計画
- [6] 平成 28 年度環境目標の実績
- [7] 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容
- [8] 環境関連法規の取り纏めと違反・訴訟の有無
- [9] 代表者による全体評価と見直しの結果

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

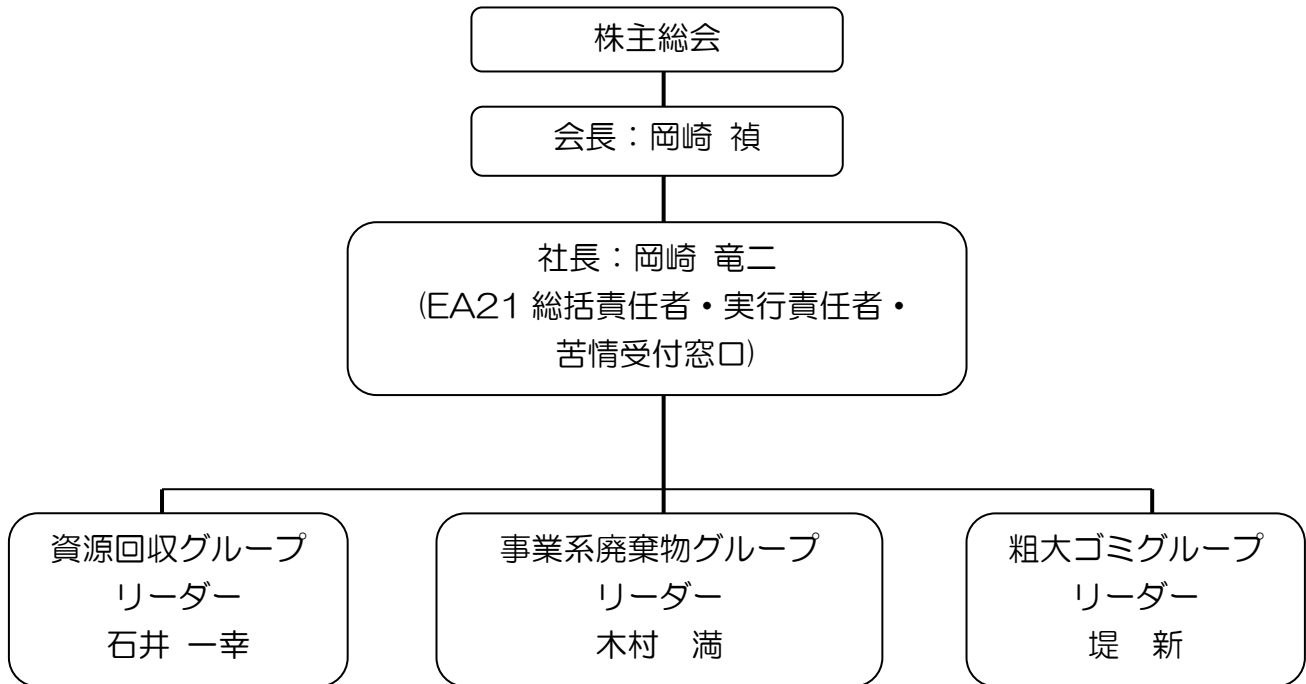
有限会社ミナト

平成 29 年 7 月 29 日発行

[1] 会社概要

- 商号：有限会社ミナト
- 代表取締役社長：岡崎竜二
- 従業員数：9名(パート,アルバイトを含む)
- TEL：046-848-9143
- FAX：046-848-9156
- mail：info@minato-lc.com
- 業務内容および許可内容
 - 資源回収業：
[業者番号：横須賀市指定 第01-24号]
 - 一般廃棄物収集運搬業：(含、積替・保管)
[積替・保管施設の保管上限量：2ト]
 - [許可番号：横須賀市許可 第71号]
[許可年月日：平成29年6月1日]
[有効年月日：平成31年5月31日]
 - 産業廃棄物収集運搬業：(含、積替・保管)
[積替・保管施設の保管上限量7m³]
[許可番号：横須賀市許可 第119671号]
[許可年月日：平成27年6月22日]
[有効年月日：平成32年6月21日]
[産業廃棄物の種類：燃え殻,廃油,廃プラスチック類、紙くず,木くず,繊維くず,動植物性残渣,ゴムくず,金属くず,ガラスくず,プラスチックくず(工作物の新築改築除去から生じたものを除く)及び陶磁器くず,がれき類(これらの内特管産廃であるものを除く)]
- 施設等の状況
 - 敷地面積:1,360m²(含,積替保管場所:25m²)
- 会社沿革：
 - 昭和44年5月1日 創業
 - 平成17年4月25日法人設立
- 資本金：300万円
- 売上高7761万円
(平成28/4/1~29/3/31/)
- 保有車両：計17台,
 - 運搬用車両
 - 塵芥用パッカー車 6台
 - 平ボデートラック 1台
 - ダンプトラック 2台
 - 軽トラック 3台
 - 作業用車両
 - フォークリフト 1台
 - 乗用車 4台
- 所在地：〒239-0841
神奈川県横須賀市野比5-11-9
- 受託廃棄物処理実績(平成28年度)
 - 資源回収量=2649ト
 - 一般廃棄物収集運搬量=385ト
 - 産業廃棄物収集運搬量=59.83トン
- 所属団体：
 - 横須賀市資源回収協同組合
 - 横須賀市一般廃棄物協同組合
 - 神奈川県資源回収商業協同組合
- 収集運搬基本料金(一般廃棄物)45L
1袋/¥490~(お問い合わせは
046-848-9143 担当：岡崎まで)

■会社組織図



[2] 認証対象範囲

1) 業務範囲

- ・ 資源回収業
- ・ 一般廃棄物収集運搬業
- ・ 産業廃棄物収集運搬業

2) 対象事業拠点

- ・ 神奈川県横須賀市野比 5-11-9 に所在する本社

[3]

有限会社ミナト 環境方針

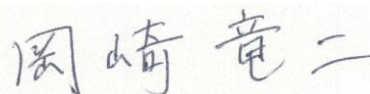
私達有限会社ミナトは再生資源回収、一般・産業廃棄物の適正処理事業に於いて環境法規制及びその他要求事項を遵守し、再生資源物・廃棄物をやさしくこの地球に戻す事を追求し資源循環型社会に貢献していく事を誓います。

環境への取り組み

事業活動に於いてゼロエミッションを目指していきます。
環境マネジメントシステムの構築と継続的な改善を進めます。
私達の主業務である廃棄物の収集運搬におけるエネルギー使用量およびCO₂発生量の削減に努め、水の使用量の低減及びグリーン調達の推進に積極的に取り組みます。
環境方針が実施され維持できるように、これを文書化し全社員に周知徹底します。
環境方針は、ホームページ等で一般の人々にも公表致します。

平成23年 1月 1日

有限会社ミナト 代表取締役



[4] 環境目標

環境負荷項目		単位	25年度実績 (基準年)	28年度単年度目標	31年度中期目標
地球温暖化	電力	kWh	11,532kwh	25年度比同等(+3%以内) 11,532kwh	25年度比同等(+3%以内) 11,532kwh
	ガソリン	L/ 売上高	6,884/67百万 円=102.74L	25年度売上高比同等 (+3%以内) 102.74L/百万円	25年度売上高比2% 削減 100.68L/百万円
	軽油	L/ 売上高	32,186/67百 万円=480.38L	25年度売上高比同等 (+3%以内) 480.38L/百万円	25年度売上高比2% 削減 470.77L/百万円
	二酸化炭素	t/ 売上高	104.46 t /67 百万円=1.559	25年度売上高比同等 (+3%以内) 1.559 t /百万円	25年度売上高比2% 削減 1.527 t /百万円
廃棄物	自社・一般廃棄物	kg	50kg 未満	50kg 未満	50kg 未満
	自社・産業廃棄物	kg	270 kg	25年度比同等(+3%以内) 270 kg	25年度比同等(+3%以内) 270 kg
水	水道	m ³	180 m ³	25年度比同等(+3%以内) 180 m ³	25年度比同等(+3%以内) 180 m ³
グリーン購入	グリーン購入推進		事務用品のグ リーン購入 実施	グリーン購入推進	グリーン購入推進
受託事業系一般廃棄物	①受託 PET ボトル・ 飲料缶の分別リサイク ル		仕分け設備を 完備、PET・ 飲料缶(ｽｰｰﾙ、 ﾌﾙ)は完全分 別	100%分別	100%分別
	②受託発泡スチロール の内製処理化		商品情報、中 古品市場情報 を監視	商品(溶融機)情報の 収集	商品(溶融機)情報の 収集 溶融機器を導入して 内製処理化(28年 度)

- 電力の二酸化炭素排出係数は、2016年東京電力の実排出係数0.521kg/kWhとする。

[5] 環境活動計画（平成28年度）

環境負荷項目		単位	28年度単年度目標	活動計画	担当
地球温暖化	電力	kwh	25年度比同等(+3%以内) 11,532kwh	事務所エアコン温度設定 照明空調使用時間の設定	岡崎
	ガソリン	L	25年度売上高比同等 (+3%以内) 102.74L/百万円	アイドリングストップ徹底 エコドライブ推進	石井
	軽油	L	25年度売上高比同等 (+3%以内) 480.38L/百万円	アイドリングストップ徹底 エコドライブ推進	石井
	二酸化炭素	t/ co2	25年度売上高比同等 (+3%以内) 1,559 t /百万円	各自データを把握し削減に 努める	石井
廃棄物	自社・一般廃棄物	kg	50kg 未満	分別を徹底し資源物はリサイ クル	木村
	自社・産業廃棄物	kg	25年度比同等(+3%以内) 270 kg	分別を徹底し資源物はリサイ クル	木村
水	水道	m ³	25年度比同等(+3%以内) 180 m ³	使用後の蛇口閉め忘れ確認 エコ水栓導入,使用	堤
グリーン購入	グリーン購入推進		グリーン購入推進	エコマーク紙の購入 その他購入物品対象拡大	岡崎
受託事業系一般廃棄物	①受託 PET ボトル・ 飲料缶の分別リサイク ル		100%分別	100%分別再徹底	木村
	②受託発泡スチロール の内製処理化		商品（溶融機）情報の 収集	商品（溶融機）情報の収集	岡崎

[6] 環境目標の実績

2016 年度売上 7761 万円

環境負荷項目		単位	28 年度単年度目標	28 年度活動実績	結果
地球温暖化	電力	kwh	25 年度比同等 (+3%以内) 11,532kwh	0.4%増加 11、586	○
	ガソリン	L	25 年度売上高比同等 (+3%以内) 102.74L/百万円	9.1%増加 112.87	×
	軽油	L	25 年度売上高比同等 (+3%以内) 480.38L/百万円	0.8%削減 404.45	○
	二酸化炭素	t-co2	25 年度売上高比同等 (+3%以内) 1.559 t / 百万円	10%削減 1401.85	○
廃棄物	自社・一般廃棄物	kg	50kg 未満	50kg 未満	○
	自社・産業廃棄物	kg	25 年度比同等 (+3%以内) 270 kg	163%増加 440kg	×
水	水道	m ³	25 年度比同等 (+3%以内) 180m ³	27.7%削減 130 m ³	○
グリーン購入	グリーン購入推進		グリーン購入推進	事務用品のグリーン購入実施 その他対象物品の購入実施	○
受託事業系一般廃棄物	①受託 PET ボトル・飲料缶の分別リサイクル		100%分別	仕分け設備を完備、PET・飲料缶（スチール・アルミ）は完全分別	○
	②受託発泡スチロールの内製処理化		商品（溶融機）情報の収集	商品情報、中古市場情報を監視	○

[7] 環境活動計画の取組結果と評価、次年の取組内容

中期目標を平成 31 年度に設定し目標の単位を実態に合った値に改めました。

[7-1] 取組結果と評価

1) 地球温暖化

(1) 電力使用量

事務所として使用している 2 系統の電気購入量の合算データを対象に低減活動を進めてきました。目標の 25 年度比同等(+3%以内)を維持することができませんでした。その主な要因はエアコンと照明その他使用頻度が上がったことが考えられます。

[次年の取組]

- ・ 25 年度比同等(+3%以内)を維持継続していきます。

(2) 社有車燃料使用量（ガソリン、軽油）

燃料使用量(軽油)は、25 年度売上高比同等(+3%以内)を維持することができました。その主な要因は受託扱い量が減少し積載量が軽くなったことと考えています。一方ガソリンは維持が出来ませんでした。その主な要因は軽貨物車(軽トラ)に対する一般・産業廃棄物収集量が増えたこと(2t 車で入れない場所等)と考えています。

[次年の取組]

- ・ 次年目標として 25 年度売上高比同等(+3%以内)を維持継続します。
- ・ アイドリングストップの徹底
- ・ エコドライブの推進（啓蒙朝礼、講習会等）

(3) 二酸化炭素

二酸化炭素の排出量は、25 年度売上高比同等(+3%以内)を維持することができました。

2) 自社廃棄物排出量

(1) 自事業系一般廃棄物は紙ごみを中心に極めて微量（年間数 Kg）です。

[今後の取組]

他のアイテムとは別に発生量把握・評価→ゼロエミッションを目指します。

(2) 自社産業廃棄物の排出は 440kg ありました。社内に保管していた廃プラを処分したために今年度増加したが次年度からは目標値内で達成見込み。

[今後の取組]

25 年度比同等(+3%以内)を維持継続していきます。

3) 水使用量

2 系統ある水系のどちらも事業用、住居用に使っていますが、使用量の大きい方(シェア 70%)を対象として低減活動を進めた結果、

- ・ 水使用量を 25 年度比同等(+3%以内)維持することができました。
- ・ 事務所外水栓の節水コマ導入・使用は達成できませんでした。

[次年の取組]

- ・ 25 年度比同等(+3%以内)を維持継続していきます。

- ・事務所外水栓の節水コマ導入・使用。

4) グリーン購入

事務用紙のグリーン購入を目標に掲げ、100%実施しました。

物品の対象拡大に於いては自動車用タイヤのグリーン購入を達成しました。

[次年の取組]

- ・事務所用品を始めとして、グリーン購入物品の対象拡大

5) 受託事業系一般廃棄物の適正取扱い

(1)受託 PET ボトル・飲料缶

飲料缶の分別用コンテナ2基(スチール用、7L用)を完備した結果、PET ボトル・飲料缶は完全分別が可能となり、分別リサイクル率100%が達成できました。

[次年の取組]

分別リサイクル率100%の維持・継続

(2)受託発泡スチロールの内製処理化

発泡スチロール溶融機の新商品情報・中古品市場情報を入手しました。

[次年度の取組]

発泡スチロール溶融機の新商品情報・中古品市場情報の継続監視

6) 緊急事態になった場合の準備

(1)緊急事態への準備・対応 OJT を従業員に配布しております。

(2)交通安全講習会を2017年3月17日金曜日当社事務所に於いて開催しました。

[次年度の取組]

今後も啓蒙・啓発しながら注意していきたいと思っております。

[7-2] 次年度の取り組み（平成29年度活動計画）

環境負荷項目		単位	29年度単年度目標	活動計画	担当
地球温暖化	電力	kWh	25年度比同等(+3%以内) 11,532kwh	事務所エアコン温度設定 照明空調使用時間の設定	石井
	ガソリン	L	25年度売上高比同等 (+3%以内) 102.74L/百万円	アイドリングストップ徹底 エコドライブ推進	石井
	軽油	L	25年度売上高比同等 (+3%以内) 480.38L/百万円	アイドリングストップ徹底 エコドライブ推進	石井
	二酸化炭素	t-CO ₂	25年度売上高比同等 (+3%以内) 102.9 t / 百万円	各項目データを把握し社員 に啓蒙啓発し意識向上	岡崎
廃棄物	自社・一般廃棄物	kg	50kg 未滿	分別徹底とリサイクル	木村
	自社・産業廃棄物	kg	25年度比同等(+3%以内) 270 kg	分別徹底とリサイクル	木村
水	水道	m ³	25年度比同等(+3%以内) 180 m ³	節水意識の再確認と再徹底 エコ水栓導入、使用	堤
グリーン購入	グリーン購入推進		コピー用紙の購入	コピー用紙の購入 その他グリーン購入物品の 対象拡大	岡崎
受託事業系一般廃棄物	①受託 PET ボトル・ 飲料缶の分別リサイクル		100%分別	100%分別維持	木村
	②受託発泡スチロール の内製処理化		商品（溶融機）情報の 収集	商品（溶融機）情報の収集	岡崎

[8] 環境関連法規の取りまとめと違反・訴訟の有無

分類	主な法規制	主な適用対象と規制内容	遵守状況	遵守状況根拠	確認書類	今後法規制対応	条文
廃棄物	廃棄物の処理と清掃に関する法律	廃棄物収集運搬、処理方法他 「一般廃棄物の収集又は運搬の許可(期限2年)を受けなければならない」	遵守	許可内容、期限が会社の業様と合致	許可証	業界紙・他情報の継続監視	法7条1、2項
		廃棄物処理業許可 「一般廃棄物収集又は運搬業者は帳簿の作成と保管をしなければならない」	遵守	帳簿があり、正しく記載する	帳簿	業界紙・他情報の継続監視	法7条15項
		「産業廃棄物の収集又は運搬の許可(期限5年)を受けなければならない」	遵守	許可内容、期限が会社の業様と合致	許可証	業界紙・他情報の継続監視	法12条1、2項
		産業廃棄物管理票 「排出者から交付される産業廃棄物の管理票を保管(5年)管理しなければならない」	遵守	5年以内の管理票は保管する	管理票	業界紙・他情報の継続監視	法14条1、2項
		「産業廃棄物管理票交付等状況報告の提出」	遵守	年1回提出	管理票		法12条3項
リサイクル	容器包装リサイクル法	特定事業者、容器包装利用会社、容器製造業、容器包装付での輸入業	該当せず				法11条1、2項
		製造業者、小売業者、消費者 「ガラス製容器、ペットボトル、紙製、プラスチック製容器包装の再商品化」		消費者として法に準拠			法12条1、2項
	家電リサイクル法	「特定家庭用機器(エアコン、テレビ等)」	遵守	3年間保管	リサイクル券	規制の継続監視	法43条
大気汚染防止	Nox・PM法	自動車排出Nox・PM 「自動車から排出されるNox・PMが基準値を超える車両は継続使用(車検)不可」	遵守	全社有車が車検に適合。車両運行規制に適合	車検証	定期点検の実施と適合維持。 業界情報の監視	法34号

レビュー年月日 2017年4月20日

上記に照らして、環境関連法規と其の当社への関連を定期的に見直しておりますが、過去1年間、法規違反及びそれに起因する訴訟等は起きておりません。又近隣住民からの苦情等も起きておりません。

確認年月日：平成29年7月23日

[9] 代表者による全体評価と見直し

1. 見直し実施日：平成 29 年 7 月 23 日

2. 提供資料

- 1) 環境目標
- 2) 環境活動計画
- 3) 環境目標の実績
- 4) 環境活動計画の取り組み結果と評価

3.平成 28 年度の評価

本年度、取組の結果は水使用量、電気使用量、燃料使用量維持を継続することができました。従業員の日々の努力のおかげです。感謝申し上げます。

次年度も上記の 3 大項目を少しでも低減できるように社員一丸となって頑張るって参りたいと思います。

4. 代表者の指示

以下の指示が示されました。

1) 二酸化炭素排出量

- (1) 電力使用量については、2 系統の合算値を対象に低減活動を実施いたします。
- (2) 社有車燃料使用量に関して、次年以降「総使用量の低減」を目標にアイドリングストップの徹底、エコドライブを推進し、燃費向上を促しながらデータの蓄積を図っていきます。

2) 水使用量

社有地 2 系統のメーターを対象に、低減活動を実施いたします。

3) 受託廃棄物

次年以降も PET ボトル、飲料缶の 100%分別の継続維持と、発泡スチロール溶融器の導入を始め、廃棄物の更なるリサイクルアイテム探しを長期課題として推進します。

4) グリーン購入についてもコピー用紙だけでなく物品の対象拡大を実施します。

次年度の発行は平成 30 年 7 月を予定しております。